

平成 2 9 年度

世田谷区軟式野球連盟
大会規定、試合細則
日程の確認について

[一般部：社会人大会]

世田谷区軟式野球連盟 S.B.B.L.

§ I 大会規定 (総則)

世田谷区軟式野球連盟主催の軟式野球大会の規則は、本大会規定以外は『公認野球規則』・(公財)全日本軟式野球連盟『競技者必携』の規定に準ずる。

世田谷区軟式野球大会特別規定

1. 各チームは、試合開始30分前に二子玉川緑地運動場大会本部(以下、大会本部という)にメンバー表(書式は問いません。)を3部記入提出し、照合印を受けること。

照合印なき場合は、大会本部に照合印の確認をしてから試合開始とする。

2. メンバー表に記載されていない選手は試合に出場することができない。
(遅れる選手もメンバー表には記載をしておくこと。)
3. 追加選手登録は、大会本部にて照合印前に連盟指定(本部に設置)の用紙に記入の上、確認を受ければ試合出場ができる。

(追加登録は試合当日でも受け付ける。当日のみ有効です。見舞金制度には加入できません。)

4. 本連盟登録チーム間での選手の異動は、同一年度内は基本的には認めない。
但し、チーム間での協議が成立している場合はこの限りではない。

5. 不正登録チームに対する処置

- 1) 試合中に発覚した場合は、対戦相手チームに勝ちを与える。
- 2) 試合終了後に不正が発覚した場合は、次回の対戦相手チームに勝ちを与える。
- 3) 決勝戦終了後に不正が発覚した場合は、準優勝チームを優勝とする。
- 4) 不正を行ったチーム及び、選手には規律委員会より相当の処分を科す。

6. 試合時間は「90分」とする。

7. 両チーム選手がホームベース左右に整列し、握手をした時を試合開始時間とする。

8. 正式試合回数は各大会とも7回戦とする。

但し、時間制を採用しているので時間を優先とする。

- 1) 上記採用に伴い、正式試合回数を定めない。
- 2) 本連盟では、全て均等回の得点によって勝敗を決する。

勝敗が決しない場合は特別延長戦(タイブレーク方式)を行う。

- 3) 雨天等により試合が中断された場合は、大会本部の決定に従うこと。

- ① 試合時間が60分を過ぎている場合は成立試合とする。

この場合は、均等回の得点を持って勝敗を決する。

- ② イニングが4回を超えている場合に於いても成立試合とする。

この場合は、均等回の得点を持って勝敗を決する。

- ③ 上記以外は特別継続試合とし、翌大会日の第1試合前に行う。

但し、日程の都合上変更する場合もある。大会本部の決定に従うこと。

9. 特別延長戦について。(タイブレーク方式)
- 一死、二塁・三塁で継続打順とする。
- (但し、投手が走者となった場合は、前位の打者を走者とすることができる)
10. 得点差によるコールドゲームは全試合に採用する。
- 3回以降：10点差、5回以降：7点差とする。
11. ベンチは、抽選番号が若い方を3塁側(先攻)とし、1塁側を後攻とする。
12. グラウンドルールは各面の担当審判員に確認をし、審判員の指示に従うこと。
13. 抗議については、監督、又は主将(当日変更したことを報告した者)と当該選手以外の抗議は認めない。
14. 放棄試合は如何なる理由があろうとも許されない。
15. 次の行為を行った選手に対しては、理由の如何を問わず直ちに退場をさせる。
- チーム関係者であっても同等の処置をとる。
- 1) 試合に関連し、暴力行為(選手間及び審判員に対して)を行った者。
- 2) 試合に際して、暴力行為等によりフェアプレー精神に明らかに違反した者。
- 上記行為者、及びチームに対しては、規律委員会より相当の処分を科す場合がある。
16. 大会使用球については、本連盟が準備したボールを公認球とする。
- 公認球：ナガセケンコーボールA号
17. ユニフォーム、及び用具について。
- 1) 監督、及び選手は同一、同色のユニフォームを着用しなければならない。
- 2) スパイク、帽子も全て前項に準じる。
- 3) ユニフォームの背中には、算用数字で「0～99番」の背番号を付けなければならない。
- 監督は30番・主将は10番とする。その他は任意で0番～99番までとする。
- (3桁は禁止)
- 4) ユニフォームの袖の長さは両袖同一とし、左袖には都道府県名を付けてもよい。但し、マーク等は付けてはならない。
- 5) ユニフォームの背中には選手名を付けてもよい。
- 位置は背番号の上にローマ字で姓のみとする。
- 但し、付ける場合は全員が付けること。
- 6) 捕手は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のマスク、捕手用ヘルメット、レガーズ、プロテクターを必ず着用すること。
- 捕手のファウルカップについては着用を推奨します。怪我防止対策のため。

7) (公財) 全日本軟式野球公認マークのないバットは使用禁止とする。(木製バットは除く) 又、金属バット等の損傷、材質に劣化のあるものは危険防止のため使用を禁止する場合がある。

8) 打者、次打者、走者、ベースコーチは(公財)全日本軟式野球連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。(両側耳つきが望ましい。)

(公財)全日本軟式野球連盟公認マークは『J.S.B.B.』と入っています。

ベースコーチのヘルメット着用を推奨する。怪我防止対策のため。

上記の規定についてはチームの状況等に応じて柔軟に対応するが、上部大会に参加するチームに対しては厳正に規定を厳守すること。

18. 試合中は言動を慎み、相手チームや審判員に対する聞苦しい野次は厳禁する。

試合中、ガムを噛むことはマナー上謹んでほしい。

19. 壮年部大会については、上記大会規定以外の特別規定を設けておりますので、詳細については壮年部特別大会規定に従うこと。

§ II 試合細則

1. 試合開始時間は次の通りとする。

[3月～11月までの期間]

第一試合 8 : 4 5 第二試合 1 0 : 2 0

第三試合 1 2 : 0 5 第四試合 1 3 : 4 0

[12月のみ]

第一試合 1 0 : 0 0 第二試合 1 1 : 4 5

第三試合 1 3 : 2 0

2. 試合はスピーディーに行い、攻守交代は駆け足で行うこと。

但し投手に限り内野内は歩いてもよい。

3. 投手が捕手のサインを見るときは、必ず投手板について見ること。

4. 投手は、捕手からの返球を受けたら直ちに投手板を踏んで投球体勢に入ること。

5. 投手の準備投球は初回、及び投手交代時は8球以内とし、2回以降は4球以内とする。但し、天候等を考慮することがあるが、いずれも1分以内とする。

6. 守備終了後のボールはマウンドにボールを置いてベンチに戻ること。

但し、雨天等の場合はこの限りではない。

7. 打者は、投手が投球位置にいる、いないに関わらず速やかに打者席に入ること。

8. 打者がサインを見るときは打者席からとし、思うがままに打者席を外すことは許されない。

9. 次打者は必ずヘルメットをかぶり次打者席に入り、低い姿勢で待つことを厳守する。投手であっても必ず実行すること。

10. 内野手間の転送球は1回の表、裏のみ認めるが、2回以降の転送球は無しとする。
11. タイムは1分間を限度とする。但し、審判員が認めた時はこの限りではない。
12. タイムの回数制限について。
 - ① 1試合3回までとする。(攻撃側、守備側の双方)
 - ② マウンドに2人以上の野手が集まったときは1回とする。
(マウンドに2人以上とは『(例) 投手+捕手・投手+内野手1名』が集まったとき。)
 - ③ 選手交代のために集まることはこの限りでない。
13. ファウルボールについては、攻撃側、又はボールの飛んだベンチ側で取りに行き、直ちに汚れを落として球審に渡すこと。
バックネット付近は、攻撃側の次打者が処理をすること。
これは、ゲームをスピーディーに進行するためですのでご協力をお願いします。
14. 審判員の判定に対する抗議は厳禁とする。
特に、ストライク、ボール、アウト、セーフ、フェア、ファウルボールはの抗議は厳禁。
15. グランド以外でのキャッチボール、トスバッティング等は厳禁とする。
公共の場であるため、通行人に怪我をさせないための処置です。
万が一に通行人に怪我をさせた場合は、連盟としては一切責任を負いません。
16. ベンチには、チーム責任者・監督・コーチ・スコアラー・選手以外は入らないこと。特に、幼児・子供は絶対に入れないこと。
万が一にも怪我をした場合であっても、連盟としては一切責任を負いません。
17. 足を高くあげてのスライディング、及び作威的な空タッグは厳重に禁止する。
18. プレイヤーが塁上に腰を下ろすことを禁ずる。
タイム中であっても同様とする。
19. ホームラン等で走者を出迎える時は、自軍ベンチ前のみとし、本塁上及び走路付近に出ることは禁ずる。
20. サングラスの着用は、試合前に審判員又は大会本部に照会し承諾を受けること。
(ミラーレンズ及び帽子ひさしの上の着用は危険防止のため禁止とする。)
21. 投手は、リストバンド(サポーター、手袋等を含む)を使用することを禁ずる。
尚、負傷等によりやむを得ず必要とするときは球審の許可を得るものとする。
22. 試合終了後のグラウンド整備は、原則勝利チームに協力をお願いします。
但し、皆さんのグラウンドなので、協力できる場合は両チームにて協力願います。
23. 試合に勝利したチームの責任者は、必ず大会本部にて次の試合日程確認をしてください。(間違いを起こさないためです)

§ III クラス編成について。

1 一般部

1部 2部 3部 編成とする。

2 壮年部（40歳以上の編成チーム）

§ IV 昇格、降格について。

1. 1部への昇格 年度内開催完了大会2部の優勝チーム。

2. 2部への昇格 年度内開催完了大会3部の優勝、準優勝チーム。

※上記以外に、各クラスのチーム編成状況、及び試合結果等により連盟にて推薦昇格する場合があります。

推薦昇格チームで、チーム状況により昇格を拒否したい場合は申し出てください。

※年度内に大会が終了できなかった大会の昇格は、大会完了年度の翌年となります。

※区民体育大会は昇格対象外の大会といたします。

3. 降格については原則的に連盟としては採用しない方針ですが、チームからの申請があった場合は連盟役員会が協議をして決定する。

§ V 王座決定戦出場規定

1) 世田谷区軟式野球連盟王座決定戦は年度最後の試合とし、年度内に開催された大会（1部・2部・3部）の優勝、準優勝、3位及び連盟推薦チームを出場資格とする。

2) 本大会は、開催の翌年春に開催される東京都都民体育大会世田谷代表決定戦も兼ね、優勝したチームは都民大会出場資格を得るが、出場規定があり（かなり厳しい出場条件がある）優勝しても出場できない場合もあります。

§ VI 試合を棄権する場合について。

1. 試合を理由なく棄権、及び大会本部に連絡なく無断棄権をした場合は役員競技の上何らかの処分を科す。

1部は、棄権の翌年は2部に降格。

2部は、棄権の翌年3部に降格。

3部については連盟にて役員協議の上処分をします。

§ VII 大会日程確認について。

1. 平成25年度より世田谷区軟式野球連盟はホームページを開設しています。

大会の有無、組合せ、日程、日程変更、結果につきましては全て連盟ホームページにて行っております。

アドレス：世田谷区軟式野球連盟 <http://sbbl.jp>

※日程の変更確認は、各チームの責任において行って頂いております。

従って、『知らなかった・分からなかった・勘違いした・連絡がなかった』等により問題が起きても、連盟は一切責任を負いません。

※日程の進行状況によっては試合日程の変更、及び試合時間変更等のお願いする場合があります、その時にご協力をお願いします。

2. ホームページ以外の確認方法。

- 1) 大会が開催されている日は、連盟携帯電話にて確認をすることができます。

時 間 : 8:45～15:00まで (時間厳守)

携帯電話 : 090-5522-9550

090-3085-8885

※本電話は大会開催日のみ案内をさせて頂いております。

試合の無い日(雨天中止日含む)は連絡が取れませんのでご注意ください。

平成11年 1月 作製

平成25年 1月 一部改正

平成26年12月 一部改正

平成28年 1月 一部改正

平成29年 2月 一部改正